

## 平成13年度ダイオキシン類自主測定結果(大気)

### 1 測定対象施設数等

特定施設名	測定対象施設				測定対象外施設		合計
	計	報告済	未報告		休廃止	新設	
			測定 依頼済	測定 未依頼			
亜鉛回収炉	3	3	0	0	0	0	3
廃棄物焼却炉	277	239	2	36	13	14	304
計	280	242	2	36	13	14	307

### 2 排出ガス測定結果

(単位:ng-TEQ/m<sup>3</sup>N)

施設区分		測定 施設数	排出 基準	測定結果		
				範囲(最小～最大)	平均	
亜鉛回収炉		新設	0	1	～	
		既設	3	40	0.61～5.0	3.5
		計	3	-	0.61～5.0	3.5
廃棄物焼却炉	焼却能力 4000kg/h以上	新設	0	0.1	～	
		既設	8	80	0～1.7	0.38
		計	8	-	0～1.7	0.38
	焼却能力 2000kg/h以上 4000kg/h未満	新設	5	1	0.00047～0.034	0.013
		既設	15	80	0.00011～4.9	0.93
		計	20	-	0.00011～4.9	0.70
	焼却能力 200kg/h以上 2000kg/h未満 (小型焼却炉)	新設	10	5	0.000025～0.19	0.060
		既設	81	80	0.000018～34	6.3
		計	91	-	0.000018～34	5.6
		新設	9	5	0.020～1.7	0.81
	200kg/h未満 (小型焼却炉)	既設	111	80	0～77	5.2
		計	120	-	0～77	4.8
合計		239	-	0～77	4.6	
総計		242	-	0～77	4.6	

- 備考 1 亜鉛回収炉は、原料の処理能力が0.5t/h以上のものが法対象となる  
 2 廃棄物焼却炉は、焼却能力が50kg/h以上又は火床面積が0.5m<sup>2</sup>以上のものが法対象となる  
 3 排出基準については、平成14年11月30日まで適用される暫定基準である

### 3 ばいじん測定結果

(単位:ng-TEQ/g)

施設規模等		測定施設数	測定結果	
			範囲(最小～最大)	平均
廃棄物焼却炉	焼却能力 4000kg/h以上	4	0.098 ~ 2.6	1.6
	焼却能力 2000kg/h以上 4000kg/h未満	16	0.000083 ~ 130	9.0
	焼却能力 200kg/h以上 2000kg/h未満	56	0.00068 ~ 41	4.6
	焼却能力 200kg/h未満 (小型焼却炉)	60	0.000020 ~ 18	1.2
合計		136	0.000020 ~ 130	3.5

### 4 焼却灰測定結果

(単位:ng-TEQ/g)

施設規模等		測定施設数	測定結果	
			範囲(最小～最大)	平均
廃棄物焼却炉	焼却能力 4000kg/h以上	6	0 ~ 0.11	0.038
	焼却能力 2000kg/h以上 4000kg/h未満	19	0 ~ 0.059	0.017
	焼却能力 200kg/h以上 2000kg/h未満	83	0.00000038 ~ 6.9	0.31
	焼却能力 200kg/h未満 (小型焼却炉)	115	0 ~ 12	0.27
合計		223	0 ~ 12	0.26

備考 ばいじん及び焼却灰については、平成14年11月30日までは処理基準(3ng-TEQ/g)が適用されない

(参考)

- 排出ガスの測定数とばいじん、焼却灰との測定数については、次のことにより一致しない。
- ・ 1事業場に2施設以上あっても、集合煙突で排出されている場合は、排出ガス測定結果は1測定結果となっている
  - ・ ばいじんを焼却灰と分離して採取できない場合は、混合灰として扱い、焼却灰のみの測定である
  - ・ ばいじん又は焼却灰については、2施設以上ある場合でも、1測定結果の場合がある
  - ・ 焼却炉の種類によっては、ばいじん及び焼却灰が発生しないものがある(液中燃焼施設等)